

回 編集後記 回回回回

脊髄損傷者の社会参加と QOL の向上について特集した。イギリスの場合を新藤氏にお願いした。幾つかの相違点と日本の後進性が明らかにされた。

まず第一に、イギリス社会では、もはや脊髄損傷者を特に障害者としてカテゴリ化しなくなり、脊髄損傷者の統計は社会的には無意味になった点である。そして彼らの社会参加はその意志に従って、原則自由となった。それだけリハビリテーションにおける実効性そのものが、セラピストと障害者にとって重要になっている。

もう一つは人権の問題である。イギリスでは患者を中心にして彼らの希望、意志をセラピーの中に十分に反映しながら、患者の人権を尊重する理学療法が行なわれている点であるが、我が国ではたいへんに遅れていることを反省しなければならぬ。人類の普遍的原理である人間の自由と基法的人権が、医療の現場で欧米並みに尊重された理学療法が行なわれるようになりたいものである。

我が国の場合について高橋氏に執筆をお願いした。我が国における脊髄損傷者のリハビリテーションの歴史的発展と現況について詳細に述べられている。脊髄損傷の ADL 訓練と社会参加について平上氏が執筆し、脊髄損傷者の能力評価について詳細な表が紹介されている。酒井論文は、脊髄損傷者における QOL 向上のためのアプローチについて述べている。今西論文は今西氏自身の頸髄損傷者として書かれたもので、テーマは頸髄損傷者の社会参加の現状と課題である。同じく、社会参加と QOL は吉岡氏、「やりたいことはいっぱいあるんです。」は坂本氏によって書かれた。この3氏はいずれも脊髄損傷者で、その体験に基づいて書かれた貴重なものである。読者にとって参考になるものである。

ところで、気になることの一つに新藤論文を除いて、性生活についてふれられていない点である。QOL の向上にとって性の問題は最も重要で、人権問題として捉える必要があると筆者は考えている。

(松村 秩)

●編集顧問●

天 児 民 和
上 田 敏
五 味 重 春
津 山 直 靖
福 屋 靖 子
松 村 秩
横 山 巖
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 靖
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 日出男
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 田 近 雄
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 剛
佐 藤 光 子
高 口 京 子
高 田 由 雄
武 富 浩 明
谷 山 久美子
寺 尾 哲 男
長 澤 弘
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
福 田 恵美子
藤 沢 しげ子
藤 林 英 樹
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
宮 本 令 子
矢 谷 清 次
山 下 隆 昭
山 本 和 儀
米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

(第28巻 第10号)

1994年10月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,494円(本体1,450円)

(配送料92円)

〔年ぎめ予約購読料 17,040円〕
(本体16,544円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:渡邊・富永)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 (株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1994, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

R <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。